

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

平成最後の「砂金掘り王」は誰だ!?

今年のチャンプはぼくだもん

砂金採りには
スポンサー

平成最後のチャンピオンシップ

ぼくはいつだって頂点だもん

参加者
受付中

砂金掘り大会
2018 summer

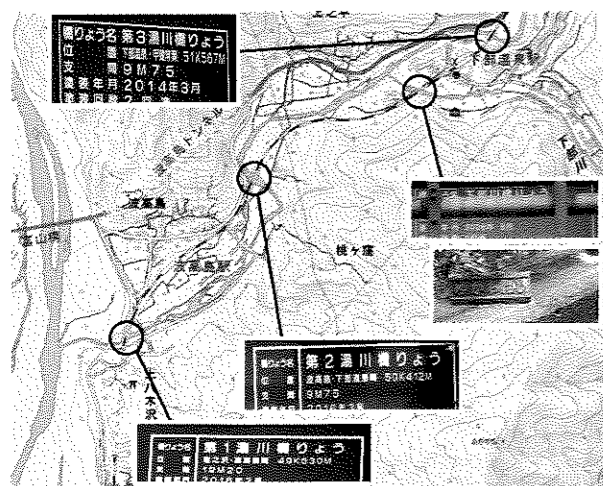
“湯川橋りょう”の怪

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

前号でお知らせをしたとおり、当館では、平成30(2018)年4月21日から7月1日までを会期として『身延線全通90周年記念写真パネル展・みんなの身延線 思い出の電車たち』を開催いたしました。このパネル展の構成素材については、身延駅(JR東海)並びに湯之奥金山博物館応援団有志からご提供をいただいたものに、私が長年取材をしてきた資料を合わせたものからなっております。あらためてご協力をいただきまして各位には、この場にて厚く感謝を申し上げます。なおパネル展の開催状況報告が本紙の4頁以降にありますので併せてご覧ください。

さて、この間にパネル展をご覧になった方々よりいくつかの感想やご意見をいただきました。あまりにも身近な身延線も、あらためてその歴史や活躍した電車、また保線やそのための機材などのようす等々がパネルで紹介されているのを見て、とても大きな意味を持っていると感じたということとか、これからも元気に走り続けてもらいたい、また10年後の100周年にはもうちょっと幅広くお祝いしたい、などがありました。こうした様々な反応をいただけたことで、ささやかながらも開催できてよかったなと思えました。

ここから今回の話題にはなりますが、図に示し



たように、当館の最寄り駅である下部温泉駅の近辺で、身延線は富士川支流の常葉川と下部川を4つの橋りょうでわたっています。下流側からあげると「第1湯川橋りょう」「第2湯川橋りょう」「下部川橋りょう」「第3湯川橋りょう」となります。

これらの橋りょうについて今回のパネル展でも一部を紹介しているのですが、そのための取材で現地を訪れて、たいへん不思議に思われることに遭遇しましたが、それが今回の話題の柱です。

これら4つの身延線の橋について、最初に詳細に現地取材をしたのは、博物館から一番近い場所にある「下部川橋りょう」でありました。そこで理解したのは、鉄道の橋りょう名は渡河する河川の名称をもとにしているんだな、といういわば法則のようなものでした。そしてその橋りょう名は、橋桁にマークしてある塗装の記録で確認ができるのでした。

次に訪れたのは「第3湯川橋りょう」でありました。現地に赴くまでは、てっきり「第3常葉川橋りょう」だろうと予想して行ったので、その橋桁に記されている塗装記録を見てびっくり仰天。「常葉川」ではなくて「湯川」とあるではありませんか。なぜこの川が「湯川」なのか。

それからわいてきた疑問は、第1も第2にも「湯川」と書かれているだろうか、でした。

この疑問を解決するために現地に出向き確認を行ってきました。確認の成果は、挿図に反映させています。ということで答えは図を見てのとおり、やはり「湯川」でありました。

こうした状況から言えることは、現在、常葉川と認識されている河川は、身延線の敷設工事が行われた頃には、「湯川」の名があったのではないかと、いうものであります。でも同時に想起されるのは、川の名前が変わってしまうなんて

いうことがあるのかということです。

身延線の沿線と同じような事例が1つ思い出されます。それはお隣、南部町の内船駅の近くでのことです。駅から南へ200m程のところにある河川で、これを渡る県道10号富士川身延線の橋は中村川橋ですが、併行して走る身延線の場合は「中沢川橋りょう」となっていました。これを知ったのは10年近く前のことでしたが、そんなこともあるんだな、くらいで終わっていました。しかし今、目前に身近で日々目にするところで改めて疑問がわき出たのです。

「湯川」に話を戻しますと、歴史的な名湯である下部温泉のエリアを流れるので「湯川」という名があることは合理的ですが、実際に身延線下部川橋りょうに併行する町道の橋には「湯川橋」の

名が与えられています。常葉川より温泉街の中を貫流する下部川にその名はふさわしく、『下部町誌』や地元の年輩の話などからしても下部川は時として「湯川」と呼ばれていたことがわかりました。

以上、身延線全通90年に関連して、湯之奥金山博物館の近くで見られた橋の名前の不思議について思うことをまとまりもなく述べてきました。結果的に明確な答えはないのですが、子どもたちは間もなく夏休みを迎えます。長い休みを利用して、身の回りに目を向け、不思議を見つけ、答えにせまる体験がいっぱいできことと思われれます。当館もそうしたことに少しでも貢献できればとの念をもっていることを表明するための、参考(にならないか)の話題として、今回、橋の名前の不思議を紹介したしだいです。

出月館長の夏休み自由研究相談コーナーが グレードアップして帰ってきた! 今年のテーマは“自分の好きなことを調べよう”

目の前に迫ってきた夏休み。毎年のことながら、夏休みの自由研究は小中学生のお友達には悩みのタネ。金山博物館では、10回目を迎える化学実験教室、戦国時代の鉱山作業をまるごと体験できる親子プログラム「こども金山探検隊」、そして「砂金掘り大会」など、自由研究素材として最適な夏休みプログラムがもりだくさん!でも、金山とは全然違う分野にチャレンジしたいというお友達、だったら悩まず、今年は「自分の好きなこと」を調べてみませんか?

植物や動物や野鳥、電車や飛行機、クッキングやソーイングだって、なんでもいいから自分が一番興味をもったことで自由研究するのが一番楽しいはず。ならば、それを自由研究という形でひとつの“学問”に高めるためには、どんなアプローチで、どうやって解決したらいいんだろう?

そんな悩みを解決するのが、「自由研究プロジェクトin金山博物館」。当館出月館長による学習相談室です。課題への取り組み方のヒント、テーマが決まっていなくても何かやりたい、そんなお友達、エントランスでブースを見かけたら足を止めてください。きっとヒントとなる研究の糸口が見つかるはず。

入口のウェルカムボードに「自由研究相談コーナー開催中!」という案内が出ている時は、遠慮なくスタッフに声がけてください。館長在館中は次の時間帯で随時開催しています。

期間：2018年7月15日(日)～8月26日(日)の間の館長在館中
時間：午前10:30～12:30と午後3:00～4:30

開館20周年記念企画展「こなしのしくみ」盛況のうちに終了！



展示総数約120点、白の総重量2.5t!

開館20周年記念事業の最期を飾った本企画展でしたが、好評の声から会期延長し、全体で約2か月間の展示期間を終えました。

黒川金山・中山金山の“甲斐金山遺跡”の総合調査が行われてから30年が経過しようとしていますが、その間の研究で、湯之奥型、黒川型、定形型（リンス型）、佐渡型、山ヶ野型、小型の黒川型とそれぞれのタイプの「鉱山白」が確認されています。それらの白の形状と構造について改めて解説しました。一度にこれだけの点数の白を見ることが出来る機会はなかなかなく、中には一つの白で105kg

もの重量を持つものもありました。

硬い鉱石の中から金を採り出すために、最も重要な鉱山道具であった「白」。分類しきれない程様々な形態をそれぞれに持ち、同じものは二つとしてない唯一無二の一点モノである白にどんな謎が隠されているのかを、期間中、多くの皆様にご覧いただき、タイトルにもある「こなしのしくみ」を一緒に考えていただける機会となりました。展示の最後に「感想メモ」貼っていただくコーナーを設けたところ、「白のことを考えることなどなかったが非常に面白かった」という声をたくさんいただきました。

開館21周年記念特別パネル展「身延線90周年」

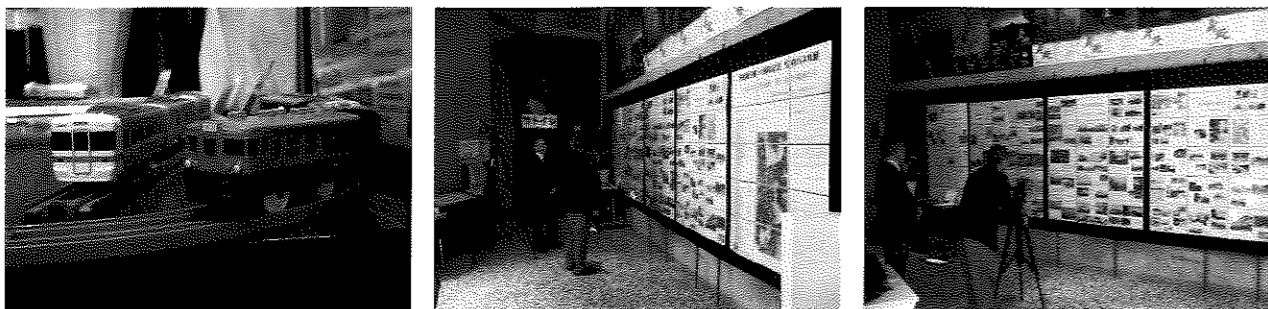
4月21日(土)～

2018年3月30日は、身延線が全線開通して90周年を迎えた日でしたが、それを記念し4月21日から、特別パネル展「思い出の身延線～全線開通90周年記念～」をエントランス壁面にて開催中ですが、パネル写真とともに、かつて急行「富士川」として身延線を走っていた165系のモデル電車が彩りに置かれています。

展示している写真は、JR身延駅さんからご提供いただいた昔の貴重な写真、博物館応援団の方々からご提供いただいたもの、当館長が撮りためた保線車両の電車など、こだわりの写真を、身延線ト

リビア「ミノベディア」とともに紹介しています。

10年後の100周年を迎える時に身延線は、下部温泉駅はどう変化しているだろうか、地元の交通を支えているローカル路線の歴史を振り返りながら、地域の歴史をより深く知っていただきたいという思いをそんなことを感じていただきながら、解説もじっくり読んでいただければさらに面白いと思います。展示期間は夏休み直前の7月1日(日)まで。観覧無料です。ご来館の際には足を止めて、ぜひご覧ください。



栃代金山現場確認調査状況報告

5月16日(水)

この身延町内には、湯之奥3金山以外に川尻、栃代、常葉と6つの金山があり、それぞれ展示図録にも掲載されていますが、その詳細はほとんどわかっていないのが実情です。湯之奥3金山以外の町内金山も調査を進めていきたいというのは常なる願いであり目標。そしてこの6金山うち、これまで場所が明確にわからなかったのが栃代金山。このほど栃代集落在住の小林虎一さんと、栃代出身の依田さんご夫妻のご案内をいただき、遺構の確認踏査を実現することができました。

短い時間なので詳細に踏査することはできませんでしたが、栃代集落の歴史や昔の暮らしなどお話を聞きながら現場を確認し、さらに鉱山白は

確認できないと言われていたこの栃代金山で、上下の鉱山白も確認出来ました。チェックした遺物は写真撮と位置確認をし、次に来た時に何から始めるか、どこまで調査を進めるかなども再確認しながら、まだまだ調べたいという気持ちを残しながら、後ろ髪ひかれる思いで下山しました。

ご案内くださった依田さんの旧宅で一休みさせていただきながら、そのお宅にも伝わる鉱山白なども拝見させていただきました。いろんな人とのネットワークや、気にかけてくださっている地元の皆さんのおかげで、今回、栃代金山跡を訪れることができたわけですが、これを足掛かりに、継続的な調査の必要性が感じられたところとなりました。



黒川金山遺跡見学会

6月9日(土)

昨年の10月に計画されていたものが雨で中止となったことを受けて、どうしてもリベンジしてほしいという参加者からのご要望、そして主催者の思いが重なり、改めて甲州市とのコラボ企画として黒川金山遺跡見学会が開催されました。甲州市窓口と当館窓口で参加受付をした総勢50名という大所帯の見学会となりました。事前下見でルートを確認するなど、甲州市文化財課の皆さんも大変ご苦労いただきました。

遺跡現地にたどり着くまでに約3時間半の道のりでしたが、東京都の水源涵養林だけあって、道は感動するほど整備されていました。暑くもなく大変さわやかな天候に恵まれましたが、黒川金山遺跡までの道のりは登り始めから「長い」ということ

と、平坦地を歩いた後に、沢に向かって「下る」ことが特徴です。道のりが長いながらもほぼ予定通りの時間に黒川千軒と呼ばれるテラス群に到着し、昼食を取った後は、甲州市の飯島泉文化財課長さんの現地説明を受けました。沢に残る大きな磨り白や、割れた黒川型の上白など、鉱山道具も確認でき、また石組で固められた特徴的な坑口など、みな興味深く見学していました。

遺跡見学後は、再び約3時間半の道のりを歩かねばなりません。さすがに皆さん疲れが出てきたようで、少し予定より時間が押ししてしまいました。とはいえ無事に全員下山し見学会を終えることができました。疲れた分だけ感動と達成感もひとしおで、盛況で大好評で終えることができました。



10年目の今年は、全部の授業の最後に宮本先生が「金」のおもしろ実験を見せてくれるよ!化学実験教室

開成中高の宮本一弘先生が、とてもわかりやすく「不思議な化学」を解説してくれ、保護者の方からも毎年大好評の化学実験教室。対象は小・中学生まで。どれか1つだけでも、全部参加でも、自分の興味にあわせてお申込みいただけます。一つ授業に出たら、残りの授業もきっと受けたい!!
(2時限目に参加する場合は、500ml炭酸用ペットボトルをお持ちください。)

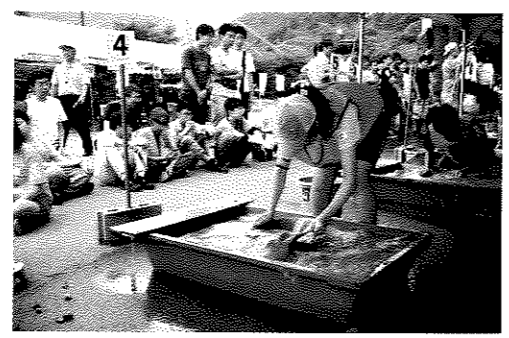
平成30年7月15日(日) 各実験定員15人(要事前申込) 参加費:1実験 各200円
【講師】宮本一弘 先生(開成中学校・高等学校・理化学部顧問、NHK高校講座講師(化学基礎))
【共催】公益社団法人日本化学会

- 第1時限目【9:30~10:30】 メインテーマ『光の不思議!』**
実験①「コップの中をカラフルにしよう!」/実験②「光を分けよう!」
- 第2時限目【11:00~12:00】 メインテーマ『ペットボトルの中に雲と雪を作ろう!』**
実験①「雲を作る実験」/実験②「雪を降らせる実験」
- 第3時限目【13:30~14:30】 メインテーマ『空気の不思議—見えない空気をカガクする—』**
実験①「真空保存容器を使った実験(演示)」/実験②「吹き玉を作ろう!(一部演示)」/実験③「浮沈子を作ろう!」

夏のイベント「第18回砂金掘り大会」参加者受付中!

参加を躊躇しているそのアナタ!
“平成”最後の夏の思い出を
私たちと一緒に作りましょう!

砂に混入した決められた数の砂金を、制限時間内に早く正確に落とさずパンニングできるか!?一般大会も学校大会も、エントリー受付中!大人も子どももドシドシお申し込みください。
主催:湯之奥金山博物館
協力:湯之奥金山博物館応援団Au会、砂金掘り友の会
オリジナルトロフィー作成協力:(島根県松江工業高等専門学校久間研究室)



期 日:平成30年7月28日(土)
9:30~15:00
(於 湯之奥金山博物館専用駐車場)

- 部 門:男女一般部門10kg(高校生以上)
ジュニア部門6kg(小学生・中学生)
- 参加費:大人(高校生以上)500円、小・中学生300円
- 参加賞:ドリンク(ダイードリンク株式会社提供)
オリジナルうちわ(愛知県・あおい商店提供)
※アンケートと引き換えに「古銭コレクション」もプレゼント!

■日 程 ※雨天決行

9:30~	受付
10:00~	開会式・トロフィー返還式
10:20~	競技説明・競技開始 (ジュニア部門・男女一般部門予選)
12:30~	男女一般部門本戦
13:00~	頂上決戦
13:30~	ミニゲーム/マイパンニング皿部門
15:00~	表彰式

- 定 員:先着200人/7月26日(木)申込締切
- 表 彰:☆2部門ともに 優勝から第3位まで賞状とメダル授与
☆総合優勝者には、パンニング皿オリジナルトロフィー(翌年要返却)と、勝者の証・もーん父さんオリジナルメダル(純銀製金メッキ仕上げ)・賞状授与
☆マイパンニング皿部門優勝者に、記念トロフィー授与
☆敢闘賞(神奈川県・広瀬商会提供)
☆低学年向け敢闘賞新設!小学生1~3年生までの参加者内で最も順位の高かった選手に賞状もしくは記念品授与

砂金甲子園!第15回 東西中高交流砂金掘り大会

おなじみ名門校、西の灘と東の開成を筆頭に、有名校がここ身延に砂金掘りのために集結する「砂金掘り甲子園」も、今年で15回目を迎えました!平成最後の砂金掘りNo.1校は一体どこだ!?見ていだけでも面白い!母校の看板を背負って、パンニング皿を激しく振る生徒たちに、皆様の熱い声援をよろしくお願いします!今年は大野中野が初参加!

期 日:平成30年7月29日(日) 午前9時~13時(於 湯之奥金山博物館専用駐車場)

- 出場校(全8校)
- ◇昨年優勝校:灘中高(兵庫)
 - ◇昨年準優勝:大妻中高(東京) ◇昨年第3位:山梨学院中高(山梨)
 - ◇開成中高(東京) ◇桐朋中高(東京)
 - ◇麻布中高(東京) ◇峡南高校(身延町)
 - ◇明治大学附属中野中高(東京)



■日 程 ※雨天決行

9:00~	開会式・トロフィー返還
9:20~	競技説明・競技開始
9:20~10:00	(団体戦 30分間)
10:20~11:00	個人戦(7分間)×5試合
11:30~	結果発表・表彰式
12:00~	交流懇親会
13:00	解散

☆第18回子ども金山探検隊は好評につき、定員満員御礼となりました。ご参加される皆様は準備万端整えて、当日を楽しみにしてください。

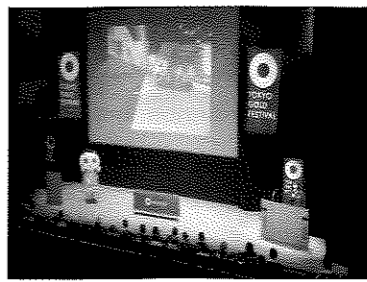
※すべての事業は事前申し込みが必要です。また、申し込まれた方でやむなくキャンセルされる方は、必ず博物館までご連絡ください。
参加・ボランティアなどすべてのお申込み・お問い合わせは湯之奥金山博物館
TEL. 0556-36-0015 まで

ゴールドフェスタ2018 に今年も参加します!

来る6月30日(土)、東京・品川大手町ホールにて開催されるゴールドフェスティバル2018に今年も参加。身延ブースではミニ展示ともーん父さんによるお出迎え。会場では金にまつわる展示・販売や各企業による様々な趣向を凝らした出展ブースがご覧いただけます。そして午前中の第1部では金のトリビア化学・色彩・歴史のうち、小松美鈴学芸員が歴史を担当講演します。なお、参加費無料、事前申し込みが必要です。どうぞお申込みの上、お出かけになってみてください。



昨年の会場の様子



鹿児島県・伊佐市のイーサキングと

「みのぶ町民感謝ウィーク」今年も実施

9月9日(日)～15日(土)

昨年に引き続き、上記の7日間、町民感謝ウィークを実施いたします。期間中、身延町民の方は展示観覧無料(砂金採り体験は1割引)で、何度でもご入館いただけます。また9月12日(水)は臨時開館。身延町民だけど実は一度も博物館に来たことがないという方、何度も行ってるけどまた行きたいという方、この機会をぜひご利用ください。もちろん通常開館いたしておりますので、一般の方々もいつもの通りご来館ください。ご来館の際は“町民”であることを証明できるものをお持ちください。

総合学術調査から30周年 記念講演会

講師：十菱駿武先生(山梨学院大学特任教授・当館運営委員)

平成30年9月8日(土) 午後1時30分～午後3時 場所：2階 博物館映像シアター

定員50人(聴講無料)

8月は無休開館!夏休み期間中は、毎日「天然石すくい」ゲーム開催!

夏休みに真っ盛りの8月は、博物館もお休みなく開館いたします。また、毎年ご好評いただいている、夏休み特別企画とお盆期間中のみ実施のお子様向けのプチイベントも開催!夏休みはぜひ当館に足をお運びください。

☆夏休み特別企画「天然石すくい」ゲーム 7月14日(土)～8月26日(日)

小学生以下のお子様限定。チケットご購入時、天然石をスプーン1杯すくってみよう。スプーンに乗った分だけきれいな天然石がもらえるよ。小さなスプーンだけど、意外に採れる!君は何個すくえるかな?

☆お盆限定企画「金銀たまごくじ」&小判GETチャンス! 8月13日(月)～16日(木)

お盆期間中、砂金採り体験室では、砂金以外に古銭・小判(レプリカ)が投入されます。採れた古銭はもらって帰ることができます。さらに、砂金採り体験をしてくれた小学生以下のお子様は、体験終了後に“金銀たまごくじ”を引き、中から出てきた景品をもらえるよ。何が出るかは引いてみてからの楽しみ!

7～9月の開館時間 9:00～18:00(受付は17:30まで)

☆アルバイト募集のお知らせ☆

金山博物館ではアルバイトを募集しています。経験不問。博物館の仕事に興味のある方、人と接することが好きな方、「何より元気!」という方、お待ちしております。まずはお気軽に博物館までお問い合わせください。

【仕事内容】館内受付、売店商品販売、砂金採り体験指導、館内清掃業務etc. ※詳細は博物館までお問い合わせください。

編集後記

もう夏休み。もう夏イベント。そう、博物館の夏が今年もやってきます。とくに今年は「平成」最後の年。表紙に掲載した今年の夏ポスターにはど真ん中に「平成最後のチャンピオンシップ」と、砂金掘り大会のキャッチコピーが踊っています。まだまだ参加受付中ですので、大会に出たい方は迷わず博物館にご連絡を!そして学校大会では初出場校も。そんなこんな博物館をPRすべく、せっせと頑張るもーん父さん。もーん父さんは毎年恒例「ゆるキャラグランプリ」に今年もエントリー。8月1日からネット上で投票開始なので、清き1票を毎日ポチっとよろしく願いいたします。投票終了は2018年11月9日(金)18時。今年は何票入れてもらえるかな!ということで、イベント盛りだくさんの博物館へぜひこの夏もお出かけください。

博物館だより

第84号 平成30年6月20日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん 